



桃五だより



No.630

(12月号)

2023.12.1

杉並区立桃井第五小学校

<https://www.suginami-school.ed.jp/momo5shoubg/>



これまでの教育活動を振り返って

校長 佐野 篤

師走になりました。子供たちが芝生の生長を楽しみに待ってくれたおかげで、今年はふわふわの芝生校庭が維持できています。「芝生の赤ちゃんが生まれたよ。みんなで、この先の生長を見守ろう。」養生期間を我慢するという意識ではなく、やさしさをもって使える状態になるまで芝生の生長を楽しみに待つことが、「みんなのしあわせ」につながると話してきました。

さて、「やさしさ」と「しあわせ」があふれる桃五小を目指して、これまで取り組んできたことを振り返りました。

基本方針1「全ての子どもたちを全教職員で支援する」

○全教職員で全ての子どもたちを支援しようと、積極的にチーム担任制(教科担任制、学年担任制、交換授業、専科教員等の活用)に取り組んできました。また、だれ一人取り残さないように、校務センター(職員室)や教育相談室を教室での学習が困難な子のための教育支援の場として、活用してきました。

○子供ファーストの教育活動にするため、教員が全て決めてしまうのではなく、子供たちと一緒に考え、子供が主体となる教育活動を意識的に行ってきました。

○「学校いじめ防止基本方針」を全面改訂しました。しあわせな生活を脅かす「いじめ」は絶対に許さないとの思いで、早期発見、早期解決はもちろんのこと、未然防止に努めてきました。

基本方針2「学校をオープンにし多様な風を入れる」

○青少年赤十字(日本赤十字社)に加盟し、活動をスタートしました。「あいさつ運動」「1円玉募金」「古切手回収」「古本回収」「ペットボトルキャップ回収」等を計画・実践し、子供が本来持っている「やさしさ」や「思い

やり」の心を引き出してきました。

○桃五小にかかわりのある人の力を積極的に借りる「オール桃五」体制を構築してきました。学校支援本部の力を借りながら、充実した授業や学校行事を行うことができました。創立90周年を見据えた5年生の総合の授業には、同窓生が20人近く集まってくださいました。

基本方針3「変化を恐れずに試行錯誤し、協働する」

○校庭芝生が教育活動の中で生かされ、誇りとなるように意識してきました。芝生を育ててくださった皆様のおかげで、スポーツフェスティバルでは、ふわふわの芝生で走ったり、踊ったりできました。

○校内研究では、対話を生かした「協働的な学び」に加えて、「個別最適な学び」に取り組みました。また、教育DXでは、まなびポケット(アプリ)を使って、出欠席連絡、文書配信等に取り組みました。

○教員が子供たちと健康な状態で関わられるように、働き方改革に取り組んできました。学期途中に、掃除を週2回に減らして、教材研究や会議の時間を捻出したり、学校行事を簡素化したり、余剰授業時数を減らしたりしてきました。目標の月平均の残業時間30時間以内に、あともう一息です。

さて、これから学校では、新年度の教育課程の編成に入っていきます。「子供が主体、個別最適な学び、協働的な学び、多様性の尊重、環境の保護、働き方改革、保護者の負担軽減」等、世の中の風を意識した教育課程を編成するつもりです。ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

12月の生活指導目標
きれいな学校にしよう

身の回りがきれいだと、気持ちよく過ごすことができます。10月から週に2回の掃除になりました。子供たちが1回の掃除をより丁寧に取り組み、隅々まできれいな桃五小になるようにしていきたいと思えます。また、「学習しよう」と思ったときに、「持ち物が見当たらない」「机の回りが片付いていない」ということで学習意欲が低下してしまうことがよくあります。使った物の片付けや、持ち物の整理整頓が重要です。ご家庭でも、学習道具の確認や整頓の声掛けをよろしくお願いいたします。